

PLASTIC WIRE

4. プラスチックワイヤーの補修

プラスチックワイヤーは弾性範囲が広く耐疲労性に優れているので、損傷が少ない利点を持っています。しかし堅い物質との接触による損傷、熱による孔明き、外力の作用による膨れ、折れ等が発生することがありますので取り扱いについては十分御注意ください。

損傷が発生した場合の一般的な補修方法を下表に示しましたが、習熟を要することもありますので実習、御指導を行っております。御利用ください。

損傷の種類	補修方法
膨れ 皺 折れ	1.糸材の熱収縮性を利用する。 アイロンもしくは蒸気で熱（130 以内）を与えて矯正する （鋭い折れ、糸に傷がついて発生した折れなどは修復出来ない場合があります）。
小さい孔 短い裂傷	1.パッチワイヤーを接着する （専用パッチキットを販売しております）。
耳ほつれ	1.ハンダ鋺で溶着する。 2.接着剤、ホットメルトで固定する。

その他修理に関しましては損傷の程度により、対応出来ない場合もございますので、担当者に御相談ください。